

今後の検討の見通し

令和6年1月11日

測量行政懇談会 令和5年度第3回流通・活用制度部会

- 今後の調査・検討方針
- 事例調査の方法と調査候補

今後の調査・検討方針

関連法令の整理

地理空間情報・官民データ活用推進
→測量成果等の二次利用の**推進・促進**

関連法令の個別目的達成のための手段
→測量成果等の二次利用の**制限**

測量成果等の二次利用の推進・促進と必要な制限との
比較衡量の論点の抽出

測量成果等の二次利用の推進・促進と必要な制限との
比較衡量の考え方及び
その実現のため具体的方策の整理

○事例調査

- ・文献調査・ヒアリング調査
- ・資料2-1で抽出した論点別に調査

○ガイドラインの 記載検討

- ・事例調査の結果として得られた論点別の考え方及び具体的実施方策等を踏まえて、ガイドラインの記載検討

考え方・具体的な実施方策等を基にガイドラインの記載を改正

事例調査の方法と調査候補

○事例調査

文献調査

- ・以下の項目を既往文献・インターネットなどで調査
 - 整備主体: 誰が主体となって整備しているのか、どのような契約関係であるか、その考え方
 - 財産権の所在: 整備した測量成果等の財産権はどのように設定しているか、その考え方
 - 承認基準: 公共測量成果の複製・使用承認の基準の公開の有無及び内容、その考え方
 - 提供状況: 提供状況の現状と提供に係る利用規約等の有無及び内容、その考え方
 - 著作権使用料・対価徴収: 提供に係る著作権使用料・対価徴収の有無及びその考え方

ヒアリング調査

- ・文献調査において特徴がみられた国・地方公共団体に対してヒアリング調査を実施
- ・文献調査の結果により聞き取り項目を考案

海外調査

- ・ドイツ・フランスについて、文献調査・ヒアリング調査を実施

○ガイドラインの記載検討

- ・事例調査の結果として得られた以下の論点に関する考え方及び具体的実施方策等を踏まえて、ガイドラインの記載検討
 - ・オープンデータ化等測量成果の活用推進の観点との比較衡量から、地方公共団体における測量成果等の複製・使用承認申請が必要な範囲等の適切な設定
 - ・オープンデータ化等測量成果の活用推進の観点との比較衡量から、権利処理等の適切な在り方
 - ・オープンデータ化等測量成果の活用推進の観点との比較衡量から、著作権使用料等や受益者負担のための実費を含む対価設定の適切な在り方
 - ・財産性(知的財産権含む)や受益者負担における提供制限と測量成果等の複製・使用承認義務との比較衡量